

<連帯ユニオン議員ネット>

2012年2・15大会報告資料

極右差別暴力集団「在特会」(在日特権を許さない市民の会)

～あなたの町にもおしかけてくる「ザイトク」集団～

<基本編・動向分析編>

私たちはこの突然出現した右翼排外主義、レイシズム(人種差別主義)集団をどう捉え、今、そして今後どう対処するのか？

執拗に自治体荒らしを行なって恥じない彼らの正体は何なのか？

彼らはこの激動期の世の中に浮遊するただ無視すべき「浮き草集団」なのか？

それとも危険なナチス突撃隊(SA)的な政治的暴力集団なのか？

それとも……？

彼らの資金源はどこか？有力な支持者は誰なのか……？

彼らが言う外国人参政権問題での「Xデー行動」とは「いつか」とは何なのか？

だが、しかし2010年末に至って明確化したことがある。

それは尖閣諸島問題、朝鮮半島情勢など激流のなか、小船のように漂流する日本・民主党政権の前に立ちはだかるかのように姿をあらわにしたのは、これまで微妙に隠されてきた保守本流・右派政治勢力、そして「維新の会」を名乗る新しさを装う政治集団がこの在特会など行動派右翼をその露払い・尖兵として利用し、保守反動勢力の拡大・強化に邁進を開始したか見えることだ。

私たちはこの「日の丸」を先頭として「日本の核武装」を平然と唱え、「反日を許さず」として中国や朝鮮を敵視し、在日朝鮮人や中国人へののしりの言葉を吐き散らし、更に部落解放同盟へ「差別ではない」と強弁して差別言辞を投げかけ、平然としている集団、この「日の丸」を先頭に私たちの街を我が物顔に行進する、数千、数万の、これら勢力の動向に決して目そらしてはならない、その実態を直視しなければならない。

更に2011年3月11日の大震災と福島第一原発事故が、これら政治情勢に拍車をかけていることは言うまでもない。「時計の針」が確実に、更に進んでしまったということである。

彼らを「過小評価で満足する時期」は過ぎ去ったと考える。

まさに問われているのは、私たち自身である。

「過去清算」の鋭く重い刃が、彼らの出現という形をとって、日本社会に向けられている。

まさに今、私たちには、厳しく苦い、「負の歴史」をまた再び繰り返すのか否か、が問われている。その情勢・時節に直面していると言う事である。

だがしかも、悩ましきことに、彼らにとって、それらのすべてが、遊びであり！快樂であることだ！

そして彼らが時折見せる言質の乱れ、行動のぶれ、離合集散などは、それが彼らの前提的存立条件であることを知らなければならない。彼らの一言一句にとまどい悩むことなどまさに無意味で無価値である。

～2010年08月、在特会と主権回復の分裂・亀裂がますます拡大！～
その後東京では排害社を軸とする統一戦線模索状況
～2010年10月、尖閣諸島問題をきっかけに「頑張れ日本」勢力台頭！～
～2011年04月～在特会逮捕者続出、運動停滞から復活へ～

(ヒットラーが政権を奪取する前のナチスの財政は、寄付と党員費で賄われていた。ナチス・ドイツは資本家・ブルジョワジーの救済者ではあったが、決してその下僕ではなかった)？

〈在特会の歴史〉

正式名称	在日特権を許さない市民の会(略称・在特会)
設立	2006年12月2日準備会発足 2007年1月20日正式発足
目的	「在日特権」の完全な廃止、 自負的な合言葉・スローガン 〈行動する保守〉 究極的には「入管特例法」の廃止(桜井・「実現すれば解散する」)
代表者	桜井 誠(ペンネーム・1972. 2. 15生、本名高田誠?) 自称西本願寺門徒?
公表会員数	10564名 (内、関西1950名、関東4243名、中部・北陸1469名) 10/09
会費	月1000円?(会員数からすれば月900万円以上の収入)～傍証あるが不明? 現在、年会費10000円でZマーク入りピンバッジ付き特別会員の募集を継続的に行っている。
組織的動員力	東京で通常は20人から50人、行事の場合、首都圏など動員して100人を越える 主権回復などと合同すれば200人に届く
有力共闘団体	「主権回復を目指す会」(代表・西村修平1950年生、文筆家・黄文雄は顧問) 自負的な合言葉・スローガン 〈行動する社会運動〉 (設立2006年7月、副代表・沼山光洋、関西支部長・中谷辰一郎、事務局長 荒卷靖彦、関西の2人は除名?)なお動画上では2010年9月に内部対立から 組織的「解散」を発表している 最近、日米安保粉砕、主権確立なし独立粉砕、独自武装による独立を主張 反中国感情が強い。西村は執着心が強く、強烈な突進力を持っている 2010年11月17日徳島教組裁判街宣で在特会と対立、共闘関係ほぼ清算か? 2011年3月26日「主権回復」は1月の在特会川東の水平社博物館前での「エ ッタ」「ド・エッタ」差別街宣を社会的に許されない行為として思想的・政 治的に一線を画すことを表明、3月15日付けでその関西支部の解散を声明し た。～思想的バックに酒井信彦元東大教授(顧問)～ (組織動員力・通常は20人から30人、時折50人くらいにふくらむ)
	「チーム関西」(代表・荒卷靖彦47歳) 関西の在特会や主権回復を目指す会などの有志で構成、行動力・動画・吸 引力をもつ複合運動体。 ただし、徳島教組襲撃事件、京都朝鮮初級学校襲撃事件による幹部クラス の逮捕によって動員力、行動力が大幅に低下、またユニークさが薄れ、独 自性を失い、相当部分が「頑張れ日本」に吸収され、一部行動で民族派右 翼=街宣車右翼と共同行動を取るように「変質」を見せ始めた。

(組織動員力・20人から50人、行事があると70人から100人となる、ただし彼らは幹部連中を中心に単独行動や7人から10人の動員での連発能力ある、荒巻は北新地で飲み屋BRICKBLACKを経営)
2012年2月12日のチーム関西報告集集会で内紛などを理由に、荒巻が「チーム関西の解散・休憩」を報告する、ただし実態は変化なしと思われる。

排害社 (代表・金友隆幸)

2007年2月結成、新攘夷運動と排外主義、「共産党宣言」をもじった結成宣言で、東京中心に若手を動員している。左翼を意識し行動的には最過激派？東京では在特会と共闘、2011年末関西にも支部を結成した。
動員力は最大200人程度。支部関西・九州・北海道

日本を護る市民の会「日護会」 (代表・黒田大輔1977年生、行政書士)

創価学会をカルト集団とし解体・解散を求める反創価学会グループ
(組織動員力・20人から50人、東京では100人を越えることもある、街宣車右翼とも連携する) ~公称会員500人~
なお、日護会黒田大輔に対し7月30日東京地裁は、東村山市議員の転落事故を創価学会が関与したとする街頭宣伝について、「まきやすとも」と共同しての110万円の賠償金の支払いと東村山市と東大和市での宣伝活動を禁止する判決を言い渡した。これにより日護会の活動は中止状況に至っている
黒田は西村修平グループとは対立関係にある(政経調査会とは別)、2011年2月黒田グループは在特会千葉支部長が動画で元暴力団員であることを明らかにしたこと、また自殺未遂会員を在特会が受け入れたことなどで黒田が反発、距離がより遠くなってきている。

「そよ風」(代表・涼風由喜子・関西・望月紀李)在特会系保守女性団体

日本会議系の日本女性の会・そよ風とは別組織
(組織動員力・東京で最大200人、通常は20人前後、関西は少し少なく7人から20人くらい、神戸で100人動員の実績がある、望月は足つぼ店経営?)

「頑張れ日本！全国行動委員会」について

「頑張れ日本」は在特会の協力団体ではないが有力な共闘団体であり、別名「田母神グループ」と総称されている。

創立が2010年2月2日、代表が元航空幕僚長田母神俊雄、幹事長がチャンネル桜会長の水島総、事務局長が松浦芳子、大阪支部顧問が元代議士西村眞悟、大阪代表が三宅博の体制である。

政治勢力としては「立ち上がれ日本」の平沼赳夫、自民党右派の山谷恵理子、稲田朋美、高市早苗、下村博文、(元)中山成彬などとの関係が深く、右翼的市民運動としての草莽地方議員の会、「チャンネル桜」、日本ウイグル協会(在特会関西のおつるが副会長)、日本李登輝友の会などと協力関係にある。

政治的主張としては民主党を極左政権と決め付け、日本の核武装、日米安保強化、武器禁止三原則の見直し、尖閣諸島・独島・北方領土などの保全奪還を唱えている。

外国人参政権問題や尖閣諸島問題での排外主義の時流に乗り、「田母神グループ」と称されるようになり、今や在特会など行動右翼市民団体を尖兵とした街頭右翼の本流的存在となっている。

とりわけ2010年10月の初めから全国的な街頭デモや集会を開催し、東京や大阪など主要地域では3000人、5000人の「日の丸デモ」を行うようになっている。また彼らは各地方都市でも何百、数千で出現して来ている、

この背後には旧来の保守・右翼勢力の政治不安からの行動化と捉えるべきと考える。

なお、在特会などの差別化・混同を避けるため差別用語の使用は禁止している。

詳細は不明だが同時期から同じような大規模集会やデモを繰り返している「幸福実現党」勢力と同じように若者・女性の多数参加が目立ち、日の丸を掲げて行進を行うなど共通点が多い。

関係組織など

亜細亜問題研究会（筆頭幹事・御影草志）休眠中

きなりの会（代表・手嶋剛34歳男、関西の護国運動、反中国、反パチンコ運動、たこ焼き店ほしづき経営）

一党独裁に抗議する会（代表・中谷良子・Jelly）ダミー組織？

中国とロシアの日本領土侵略に抗議する会、ダミー組織？

日本よ、何処へ（代表・瀬戸弘幸）～お巡りさんいつもありがとう～

真・保守市民の会（代表・遠藤健太郎、増木重夫と同時逮捕歴あり）

真・保守有志の会・俊傑憂憤の集い（集長・渡邊善楽）

NPO外国人犯罪追放運動（代表・有門大輔）

主権系

差別利権を許さない市民の会（代表・芳村登志夫・あぬー38歳）

男性差別を許さない市民の会（TAKITAほか）～女性専用車両反対ほか～

差別ネットワーク（代表・兼松信之）～男性差別を許さない会～

政経調査会（代表・まきやすとも）～反創価学会派、西村修平グループ主権系

千風の会（代表・渡辺祐一）千葉中心の行動右翼

外国人参政権に反対する会・全国協議会（代表・神田賢斗、村田春樹は活動家）

よーめん（松井陽面ーペンネーム）～クーデターを目指す「親衛隊」募集中～

これまで数々の講演会や戦闘訓練などを行い、実践化を目指している

日本の自存自衛を考える会（代表・金子吉晴、大井町議員）

主権系

戦う女性がけっぷち隊（東京の女性中心の排外主義的グループ）

日本シルクロード科学倶楽部（中国の核実験批判、会長高田純、おつるが副会長）

クリーンかわさき連絡会（代表・高橋賢一、元在特会事務局長）

日本侵略を許さない国民の会（代表菊川あけみ、2011年2月発足、在特会・排害社と共闘）

歴史捏造を糺す会（代表・長月有希）神戸中心として活動開始、チーム関西の別働隊、きなりの会との共闘が多い。

台湾建国応援団（代表・コスリス30台男不明）関西中心

俊傑憂憤の集い（代表・渡邊喜楽）北海道中心の個人的右翼運動体

自由主義研究会（代表・蓮見一郎）

主権系

現代撫子倶楽部（代表・中谷良子、関西の女性グループ）

縁下（エンカ）（代表・拝頭一）2012年2月発足、行動する保守運動支援団体

関連の組織、系列

チャンネル桜（代表・水島総、右翼放送局、西村修平と喧嘩）動員力あり

「頑張れ日本」の支援、草莽崛起グループ

草莽全国地方議員の会（代表・松浦芳子杉並区議）関東中心右派全国地方議員
土屋他約120人

維新政党・新風（代表・魚谷哲央、金友隆幸、西村修平も関係者）党員2000人弱
党友に西村真吾、大前繁雄、若泉征三など現元議員がいる

教育再生・地方議員百人と市民の会（事務局長・増木重夫・西宮で逮捕歴あり）

日本会議（日本における保守本流？） 国会議員多数参加・前原誠司なども会員
日本会議地方議員連盟（自民党他多数加盟）

自立国家日本を再建する草の根ネットワーク（代表・仲村覚）

山野車輪・漫画家（嫌韓流シリーズ・若者奴隷）
村田春樹・日本会議、維新政党新風、外国人参政権に反対する会などに関与
桜組（代表・服部英子、外国人参政権に反対する関西代表、自民党右派女性組み）
救う会・家族会（西岡力など）～在特会へはブルーリボンを無償配布～
新しい教科書をつくる会系
関西防衛を支える会（会長・濱野忠臣）？おつるが取り持ち

統一協会（増木重夫経由し接触？）？

幸福実現党＝幸福の科学（教祖・大川隆法）～中国政策では在特会と一致～
2010年5月11日、彼らは日比谷野音で3000人規模の安保強化・米軍基地強化
をスローガンとして、女性と日の丸を掲げた集会とデモを行っている。

日本創新党（党首・山田宏）？ 東アジア外交政策では差なし

たちあがれ日本（代表・平沼赳夫） 東アジア外交政策では在特会と差なし
組織力の弱い弱小政党であり、行動面では在特会が中心的に支援している。

愛国女性をつどい花時計（代表・橘まゆみ）若い女性中心の愛国団体、子連の
参加者が多い、2010年4月結成、「慰安婦」問題逆意見書提出、教科書問題な
どで活発な運動展開

関連ホームページ・ブログ

在日特権を許さない市民の会（<http://www.zaitokukai.inf/>）

主権回復を目指す会（<http://shukenkaifuku.com/>）

排害社（<http://haigai.exblog.jp/>）

大和魂WE ARE? TEAM. KANSAI（<http://www.team-kansai.jp/>）

Doronpaの独り言（桜井）、おつるの秘密日記（中曾千鶴子）、この国はすこし
変だ！（よーめんのブログ）、せと弘幸Blog「日本よ何処へ」、Khloe（クロエ）

理論面でのリーダー格

桜井誠、西村修平が実務面も含む理論面でのリーダーであり、内部講演会や学
習会を牽引している。桜井は元学生運動上がり（中国派）の西村修平から運動
の手法や考え方など学んだと考えられる。また桜井自身「西村修平からいろい
ろと学んだ」と講演会などで表明している。

彼らの理論面を支え引っ張っているのは元東大教授の酒井信彦、瀬戸弘幸、和
田春樹、西村幸祐、そして西岡力（クリスチャン）や百地章日大教授などである。

彼ら思想的リーダーによる内部的な講演会、学習会は、地区や支部ごとに積極
的に開催され組織的な「思想強化」が図られている。副会長（八木や川東など）
がインターネット情報を引き出して即席の講演を行うことも多い。

在特会関係地方議員

吹田市議会 柿花道明 (2011年4月統一選トップ当選)

関西を中心に、思想的に同じ傾向やバックを持つ議員が急増している。

(ある意味、橋下知事の政治団体である「大阪維新の会」と在特会は共通の考え方を持っていると言える、行動するか否か、口にするか否かの違い)

彼らの典型的言動

朝鮮人はうそつきだ。チョンコ、チョン・チュンコウは日本から出てゆけ、朝鮮人は出てゆけ、朝鮮人は人間じゃあない。在日のゴミ、ゴキブリ朝鮮人、ゴミはゴミ箱へ。ゴキブリは朝鮮半島へ。朝鮮人は地上の楽園に帰れ。日本で差別されている可愛そうな可愛そうな朝鮮人は朝鮮半島に帰れ。

「慰安婦」は売春婦だ、日本にいる朝鮮売春婦は日本から出てゆけ。強制連行はウソだ、証拠を出せ。済州島の白丁(ペクチョン)は出て行け、キムチ臭いぞ。

朝鮮人の日本侵略を許すな。ここは日本の領土だ、シナ人を叩き出せ。朝鮮人やシナ人は出てゆけ。日本は朝鮮を植民地にしていない、遅れた朝鮮を近代化してやっただけだ。

朝鮮人を叩き出せ。

反日売国奴は日本から出てゆけ。反日極左(民主党も含む)を叩き出せ。反日カトリック、反日反戦坊主を日本から叩き出せ。

部落解放同盟は人権を語る首吊り自殺推進組織。利権団体部落解放同盟を日本から叩き出せ。

日本は天皇の国・国家神道の国だから教会は出てゆけ。

〇〇市長、〇〇議員を選んだ宝塚市民は愚民、落選させるまで来るぞ。

(更に宝塚では市議員に対し「朝鮮のメス豚」「朝鮮の売春婦」などと罵倒した)

(ワシントンホテルの外人客に向かって)「ホワイトピッグゴーホーム」、キリストを叩き出せ、教会は出てゆけ。

(池袋の中国人観光客に向かっての)シナ人帰れ。民主党は売国奴。小沢一郎は朝鮮人で売国奴だ。ザ・コーヴ問題で「日本の食文化を守れ」として捕鯨・イルカ漁、更に朝鮮や中国の犬食批判。

「朝鮮進駐軍」は日本人4000人虐殺した(インターネットででっち上げ、街宣車で宣伝)。韓流ドラマファンの朝鮮のババア。

創価学会はゴミため売国奴、カルト集団創価学会。チョンは出てゆけ。シナ、中共、チャンコロ。中国残留孤児はシナに帰れ。日本の右翼の6割が在日3割は部落民だ(その逆も)。

日本で3万人の自殺者が出ている、我々日本人の税金は日本人だけに使え、納税しない朝鮮人に年金を出すな。

★最近目立つのは2011年1月奈良水平社博物館前で川東が発した「エッタ」・「ド・エッタ」が蔓延して誰でも使うようになってきている。

★また原発反対デモに対する「こいつはナイフを持っている射殺しろ」とか朝鮮大学校での「朝鮮人を殺しに来た」など会長桜井の暴言のエスカレートが目立つ、もう歯止めがなくなったかのようだ。

彼らの闘争スタイル

基本的には「日の丸」と「旭日旗」を「錦の御旗」に掲げた徹底的な街頭行動主体。しかも組織的柔軟性があり、いわゆるヒットエンドラン攻撃が多い。

一方で「道路使用許可」なども出す合法主義を踏襲する自称市民団体。またいわゆる「指定暴力団」ではないから、警察からすれば彼らは規制がしにくい「市民団体」である。

しかし行動そのものは凶悪化、恐れを知らない直接的行動と大音量のスピーカーによる欺瞞的な街頭宣伝(ウソも百回言えば真実となる)が実践されている。

街頭行動と同時にインターネット動画を徹底的に利用し、彼らはそれをもうひとつの組織的生命線としている。

彼らに汚染されているインターネットを見ればその多さに圧倒され、彼らの言うことが正しいと勘違いし、オルグされる若者が多いと思われる。

彼らはウソデッチあげ・世相の「創造的操作」によって勢力拡大して来た。

「よーめんブログ」では将来のクーデターを可能とする「親衛隊」結成を呼びかけている。なお動画では「在日韓国人は皆殺しにしろ」などの字幕すら書き込まれている。

徳島教組事件以降、警察権力擁護・裁判所批判に変身した模様もある。

ビラのポスティングも活発に行っている(6種類ある)。このため一般の市民運動と違い若者、女性や若者の参加が多い。

署名活動としては「河野談話撤回」署名、「朝鮮学校無償化反対」署名などを行っている。

彼らが攻撃のターゲットにしているのは、NHKや朝日新聞などマスメディア、在日諸機関(民団、総連、朝鮮学校)中国人街(西池袋などの中華街構想)、水曜デモグループ、「慰安婦」意見書を決議の自治体、入管諸機関など、そして創価学会関係機関など、それに加わる諸個人自宅などである。

彼らは女性組織「そよ風」、反創価学会グループ「日護会」などを微妙に絡ませて攻撃している。なおこのところ日護会=黒田グループの創価学会への攻勢が目立つ。

現状からすれば、彼らは

①在特会東京勢力 ②主権回復グループ ③チーム関西

の三つを運動のメインとして活動している。また組織を越えた地区間の交流度が高い。

また戦後、左翼や労働組合の示威行動の主拠点化していた国会周辺は、今や彼ら行動右翼の拠点化している。

最近、関西、中国、九州を中心に各自治体へ外国人参政権・住民投票条例・朝鮮学校補助金・高校無償化問題、人権問題、また「環日本海構想」など掲げる自治体への嫌がらせが急増している。

彼らの思想的背景・思い込み

彼らの基本的認識は「在日特権を許さない市民の会」との名称どおり、外国人参政権の阻止が最大の課題である。彼らのいう「Xデー」とは、民主党政権が外国人参政権推進派の公明党を巻き込み、国会決議が行われる日のことである。

その阻止には「最低、固く決意した1万人の人を国会周辺に集めることだとし、1万人集まれば情勢を変えることができる」としている。

「政権交代」が現実になる2009年の総選挙前、会長の桜井は講演会で「これまでの保守や右派が今の日本にしてしまった、このままでは日本は危ない」「私たちが『行動する保守』として頑張るしかない」外国人参政権については「外国人参政権を認めると、日本は韓国や中国の植民となってしまう、非常に危険だ」と言い切った。

これは彼らがこれまで3回押し掛けた対馬、朝鮮学校の隣接した公園の利用に対する考え方と共通するし、朝日新聞が報じたがインターネットでの「青ヶ島」の外国人参政権による「領土失墜」への異様な恐怖感と同じである。

2010年の参議院選や地方選では、ほとんど同じ対外政策を掲げる自民党および「立ち上がれ日本」、「幸福実現党」など右派新党グループの先遣隊役を果たした。

2010年7月の「夏フェスタ愛知」で桜井は「政府は日米同盟と米軍の抑止力によって日本は守られていると言っているがそれは間違い。アメリカは国益のためにのみ米軍を動かしている。アメリカ軍は日本を守るための戦争はしない。アメリカに中国と戦争する利益はない。アメリカの国債

を買っているのは中国。吉林省には日本に照準を合わせた40のミサイルが配備されている。もし中国が日本を攻めて来たらアメリカは日米安保を破棄して逃げるだろう。中国や北朝鮮から攻められたら自分の力で守るしかない。だから核武装は必要だ、しかし核武装は今のままの日本では絶対に実現しない。私たち国民1人ひとりの心を変えることが出来なければならない」などと言いつけている。

2010年1月24日の在特会臨時大会の講演で、桜井は参加者500名を前に「『私は敵を見たら殺せ』を信条としている。みなさんただ拍手するだけでなくてそうしてほしい」と檄を飛ばしている。3月13日彼らの朝鮮学校無償化反対講演会で会場からの質問に答え「極左とはやるときには必ずやる」と断言した。

3月28日朝鮮学校無償化を許さないデモ妨害時、京都市役所前で天皇陛下万歳三唱と君が代斉唱を行って解散、軍服姿などの若者が目立つようになっている。

4/7梅田水曜デモで2人の帰化した日アジア系外国人をオルグ「日本は核武装すべき、国は自力で防衛すべき」などと話し合っている。

警察権力に対しては「反日左翼や朝鮮人を取り締まれ、不法朝鮮シナ人を逮捕しろ」と糾弾する反面、「パチンコ屋と癒着し、天下りしている〇〇署弾劾」などと言っている。

また在日朝鮮人や中国人が加害や被害者である事件や裁判に対し、一方的に日本人擁護の街宣を始めた。

彼らは創価学会をカルト集団と決め付け、外国人参政権問題を中心に創価学会批判を加速、創価学会本部や埼玉と大阪でデモや嫌がらせを強化している。

その最大の理由は創価学会が200万人の固い組織を持つ宗教団体であり、政治集団であるからだ。

また彼らにとって在日の組織、民団、総連は、同じ朝鮮人組織であり、日本から叩き出し、祖国に送り返すべき犯罪者集団・排除対象集団となる。

佐賀市図書館の「非核非戦展」の「九条は人類の要求、世界に誓った日本の誓約」のスローガンを捏造だと抗議、またハンゲルと中国語の並列表記にもクレームをつけた。

なお、彼らは緊急山本駅前の水曜デモ嫌がらせの時、「あなたたちは私たちをフリーターや非正規雇用者の集まりなどと言うが、そんな目で見ると、彼はペンキ屋で、彼女はCD屋で真面目に働いている」などと反発した。

彼らのあきれた矛盾・混乱

彼らは日本人、日本という国家、そして彼ら自身をまったく省みることが出来ない。

「私たちは外国人を差別しないし、排外主義ではない、区分だ」と言いながら自らのアイデンティティを見失ったままだ。

ある町の人権冊子へのクレームで川東は「8月15日の先天皇陛下のお言葉は、日本の神様が私たち国民に下されたものだ」と真顔で言及した。彼らにとって今でも日本は完全無欠の、それこそ神の国であり、彼ら日本人は何の過ちも犯さない天皇の赤子だというのだろう。

「現在の日本はお祖父さん曾お祖父さんたち先祖によって作られた素晴らしい国だ。その人たちが戦争中といえども外国の女性を強姦し、性奴隷などにするわけがない」今日本の風俗業で働く外国人女性は「元々売春が好きで日本で稼いでいる売春婦だ」とし、過去の日本軍の行いも、日本軍兵士も問わないし、現在の買春する側の日本人の責任性を欠落させている。

この川東の言動は2011年1月の奈良「水平社博物館」前での「エッタ」・「ド・エッタ」を連発した差別街宣にも通じる。

あの「全国水平社宣言」にその用語が使われているから差別ではない=だから差別していないとなる。

また彼らは在日の人々が日本の未だ厳しい差別社会の中でやむを得ず使っている「通名」を「う

そつきだ」と非難する。しかし会長の桜井誠自身が政治団体代表となりながら、ペンネームを次々と変え、本名を明らかにしていない非論理性がこの典型である。

右翼本流との関係 とりわけ民族派右翼との関係

彼らはこれまでいわゆる「街宣車右翼」を、その構成員の大半が朝鮮人であり、被差別部落民（その8割）だと決め付け、差別しけなしている。

靖国などでは「日本会議などと共闘もあるが基本的に敵対関係にあり、「日本会議」のメンバーが、宝塚の〇〇議員に「あいつらは右翼じゃあないからな」と手に負えないという感じで電話してきた事もある。

彼らは従来の右翼団体に「朝鮮人右翼」などとの罵倒を行い、京都や神戸ではこの旧・新右翼双方がやりあってもいる。

しかしこのところ、外国人参政権、夫婦別姓問題などで日本会議や幸福実現党などとの右翼的共闘体制への回帰が開始され、日比谷公園や国会前では、日の丸と過激な差別用語を駆使した「右翼統一戦線」的な動きが加速している。

映画「ザ・コーヴ」上映阻止騒動でも西村修平は嫌っているが、従来型右翼（街宣車右翼）も統一戦線的に参加するようになってきている。

8月3日新宿で「行動する保守運動VS右翼」と題するトークイベントが行われ、桜井誠、黒田大輔そして村田などに対し、統一義勇軍、鉢谷、室岡などが対応、バカヤロウ、カエレなどの野次と怒号の飛び交う大荒れ模様に、桜井は会場からの野次に対し「ゴキブリ出てゆけ、蛆虫は出て行け」などと侮辱、そこに鈴木邦男が乱入、より混乱した。

これらがポーズだけなのか本音なのか不明だが、対立の根は深い。

旧右翼からの批判は「外国人参政権に止まるのではなく、愛国心を持って共に闘って欲しい」だが、桜井たちの批判はまさにここに止まっている右翼への批判でありハードルは高そうである。この対立をネットウヨクと右翼と単純化出来るのかは疑問だ。

なお、2011年後半、関西では民族派右翼である「日本民族青年同盟」姫路の桂田を取り込み、活動を共にすることがある（今のところ日本民族青年同盟の極一部の参加と考えられる）

警察・権力筋の見解

警察関係の情報誌である「治安フォーラム」は彼ら在特会の活動を称して「一見して普通の人たちのようだ」と言いつつ、「彼らが在日韓国・朝鮮人や左翼陣営の批判のために口にする言葉は、ちょっと信じられないくらい激烈だ。こういう人たちを見ていると、なんとなく、広い意味での右派陣営の拡大、ひいては社会全体の右傾化傾向を感じてしまう」（2010/4）と客観性を強調しつつ、権力的傍観？の態度を保っている。

現場の警察官は彼らの過激化によって警備強化を強いられ、手を焼いている側面もある（水曜デモの当日、兵庫県警は各駅頭に複数の私服を配置している）。

もとより権力側の在特会グループと水曜デモグループへの対応は、一見公平に見えるが、迎合的な在特会グループの過激化を抑え、左派グループの対抗化には即弾圧の体制を取っている。

警察は双方によって警備面でのコントロールの枠を超えた状況が生じれば、直ちに広範囲で直接的な弾圧を強化するだろう。（すでに水曜デモ支援者の中に複数の別件逮捕者が出ている）しかし2010/9号の「右翼特集」号には、彼ら在特会グループは一切含まれていない。

治安フォーラム2010年12月号で「記念日等に見る最近の右翼動向」として初めて在特会を記事化市民運動的形態を持つ右翼の一翼として位置づけた。但し「尊皇」を言わない在特会はけしからぬ存在らしく、動員力は既成街宣車右翼に劣らぬと評価しながら「一水会」などと同じく民族運

動のはずれものとして注視してゆくとしている。主権回復については触れていない。

資金源はいずこに？

彼らが対馬などへの遠征や、遠くへの動員については、まるで小学校の修学旅行並みの配慮を行っている。私たちの市民運動の常識では考えられないこと。

幹部連中が地方に出かける時は一泊二泊が当たり前になっている様子がある。

この資金源はどこなのか、会員の会費以外にも相当の資金源が存在すると思われる。片方でインターネットによる募金・寄付の呼びかけも行っている。

なお、在特会は2010年8月22日の「韓国併合100年記念イベント」と諸事件対応費用の財源として「特別会員」の募集を開始した。年会費1万円とし、口数制限なしである。またこれとは別に「チーム関西」も独自に闘争寄付を呼びかけている。一部に統一協会との関連を言う人もあるが関西の講演会でこれを痛烈批判している。

「在特会」関係者経歴ほか

代表・会長	桜井 誠（ペンネーム、本名高田誠？・38歳、福岡出身）作家・右翼運動家
副会長	御影草志（亜細亜問題研究所筆頭幹事・会員・メルマガ担当）
筆頭副会長	八木康洋（維新政党・新風幹部、関西地区担当代行） 東大大学院卒・工学博士
副会長	藤田正論（北海道・東北担当）
副会長	大久保王一（関東地区調整担当）
副会長	岩橋末子（中部地区担当）
副会長	川東大了（関西担当39歳） 「民族人種日本人委員会委員長」
副会長	先崎玲（中国・四国・九州担当）
事務局長	桜ゆみこ（設立時の高橋賢一は2007年7月退任、現在「クリーンかわさき連絡会」代表）東京での主権回復西村修平とのパイプ役？
事務次長	吉田正美（イベント・寄付金担当）
広報局長	米田隆司（広報全般・10/5選任化東京支部長辞任、後任には秋津昭男が就任）
広報次長	小林徳鷹（広報全般）
	なお、発足時副会長だった新井和真（帰化在日）は2007年9月退任している また副会長の花御堂久子も退任 桜井誠独裁体制ではあるが会長・副会長は選挙によって信任される
東京支部長	門間孝司
女性部花紋	2010年11月10日発足 代表は桜ゆみこ兼任、発足日には全員が和服姿で街宣
共闘関係	西村修平 「主権回復を目指す会」代表、1950年生、専修大中退元ML派？ 1972年訪中学生団に参加 在特会との濃密な関係にあった主権回復を目指す会の関西での活動はやや鈍っている様子、ザ・コーヴ上映阻止などに特化 尖閣諸島問題の勃発で在特会と関係修復の兆しあり 2010年11月17日徳島教組訴訟の地裁前で在特会とけんか、改めて分裂明確化、双方とも今後共闘・交流はしないと声明を出す しかし、直後の12月4日の朝鮮学校襲撃事件一周年デモでは桜井不在の東京で共闘した
全国支部数	2010年1月の組織改革によって都道府県単位に再編成され、現在27支部 関東、関西、九州に多く設置され、北海道も強い なお賞罰が厳しく、支部長や地区責任者の更迭が多い、幹部の中では一番若い桜井誠独裁体制で信賞必罰主義

関西地区の組織状況

関西地区支部長 大阪支部 川東大了（兼任、成瀬要平は退任し現場へ）
京都支部 丹羽つかさ（前支部長の西村斉は11/30退任）
兵庫支部 （米田謙一は6/5付け解任）
和歌山支部 梅本修平（道端隆之は7/29付け解任）
滋賀支部 神功正毅
奈良支部 中野亘（救援担当） 4/1関西地区基幹支部長へ昇格

元関西支部長・増木重夫、

西宮の小学校校長恐喝容疑で逮捕後、指導部をはずれ第一線へ、「救う会」や「つくる会」大阪支部長、反日教組の旗頭の一人。関西内部では桜井より尊敬されている存在と言う。かつては「西村修平の財布番」と言われていたらしい。2010年10月滋賀での車庫飛ばしでまた逮捕される。なおジャーナリスト安田浩一には「在特会などいない」と否定的発言を行ったと言う。「NPO法人教育再生・地方議員百人と市民の会」の事務局長、右派系地方議員を組織している。

◎チーム関西 「関西四天王」川東、西村斉(41歳)、荒巻(46歳)、中谷辰(41歳)、カメラ担当のbureno(松本修一34歳)を含めて「関西五強」と自称～8/10 四天王逮捕、京都朝鮮学校襲撃事件で4人逮捕、徳島日教組襲撃事件でも中谷を除く3人が逮捕され、保釈条件のため他のメンバーで運営、四天王は休業中である。中谷は組織から一定離れている様子。

◎女性グループ おつる(中曾千鶴子46歳・クリスチャン)、少佐(クロエ・中谷良子34歳)がリード、ただし双方とも組織へは所属していないと表明している。在特会の女性たちは積極的に「広告塔」の役割を果たしている。女性組織「そよ風」の動きも活発化。クロエは徳島事件で逮捕され自宅待機の状態だったが、最近現代撫子倶楽部代表として復活、おつるは川西市議選で落選後活動は減少。もっぱらシルクロード科学倶楽部や高田純との関係で動いている。また「たちあがれ日本」と関係濃密(かけはし塾の第一期生)

彼らの出身階層

全て分析できた訳ではないが、垣間見える彼らの職業から分析を試みるとすると、やはり中小企業経営者(飲食店・設計事務所・エステ関連・たこ焼き店など)を中心として、いわゆるサラリーマン、フリーター層、疾病も含む自宅閉じこもり者など、多様で、いわゆる組織労働者層とは無縁な逆に敵対的な関係者が多くように思われる。それゆえに労組嫌い、政党嫌いが表出する原因となっていると思われる。

～以下推定項目を含む、在特会関連事実分析～

「彼らが最初共産主義者を攻撃した時」

これの逸話は有名であるが、ひとりニューメラーに止まらず、ナチスに懐柔され、やがて迎合し、熱烈な支持者に変わって行った、すべてのドイツ国民の悔悟の詩でもある。

「ナチ党が共産主義を攻撃したとき、私は自分が多少不安だったが、共産主義者ではなかったから何もしなかった。

ついでナチ党は社会主義者を攻撃した。私は前よりも不安だったが、社会主義者では

なかったから何もしなかった。

ついで学校が、新聞が、ユダヤ人等々が攻撃された。私はずっと不安だったが、まだ何もしなかった。

ナチ党はついに教会を攻撃した。私は牧師だったから行動した。しかし、それは遅すぎた。」

2011年 統一地方選での在特会勢力の動向、在特系が勢力拡大

2011年4月に行なわれた統一地方選は民主党の惨敗、みんなの躍進、自民・公明の停滞、社民党・共産党の低迷という結果となったが、同時に大阪・橋下の「維新の会」愛知・河村の「減税党」など地方政党の進出が目立ち、総じて民主党を含む右派勢力の勢力拡大と、躍進振りが目立った。

とりわけ関西ではその傾向が顕著となり、警戒線を突破する勢いである。

吹田市 「維新の会吹田」を勝手に名乗った現役在特会メンバー「柿花道明」が11433票で2位以下をダブルスコアで引き離しトップ当選、柿花は梅田水曜デモの妨害などに参加した現役在特会である。 選挙には在特会の荒巻などが駅立ちやビラ配布を応援している。なお当選の翌日在特会のおつる・クロエなど中心メンバー12・13人と祝勝会を行い、酒を飲みカラオケで大ハッスル。その席に「大阪維新の会」の事務局長と市議団幹事長も参加、動画の中で在特会と維新の会との間の「橋渡し」が約束された。

宝塚市 最右翼の「多田浩一郎」がトップ当選、会派結成した「太誠会」のメンバー大川裕之・佐藤基裕と3人が当選した。 また「つくる会」教科書推進派の最右翼の「藤本誠」も当選。ところが社民党で「慰安婦」問題や朝鮮学校問題で頑張った梶川議員が落選した。大島淡紅子議員は票を減らしたものの当選、女性で初当選の浅谷議員と2人会派を結成することとなった、中川市政の後半は議会運営ほかで厳しいものが漂う状況となった。2011年秋太誠会に藤本が加入、4人会派となり、多田の市長立候補を目指す。

伊丹市 西宮の今村岳司を師と仰ぎ、「5年後10年後は今村さんの時代」との給う29歳の「中田慎也」がトップ当選、ところが社民系の高塚ばんこが落選する。

西宮市 右派本命の策士「今村岳司」が8600票を獲得し2位以下をダブルスコアの3回目のトップ当選、四津谷議員は41位と滑り込みセーフ当選だったが、在特会元関西支部長の増木とつながる「坂下明」など右派勢力が楽々当選した。
今村岳司は「第二の橋下」となる可能性を持つ、彼らの会派（にしのみや未来）の控え室には大きな日の丸が飾られている。次期市長選への今村岳司立候補の可能性大。

徳島 徳島でも在特会メンバーが立候補するも落選、当該者はその後関西に移住？

地方自治体への攻勢

2011年夏ごろから支持が得られなくなった「パチンコ」禁止街宣の下火化に代わって、民主党が検討中といわれる「人権侵害救済法」反対の街頭宣伝が活発化を見せている。法案自体まだ体をなしていない状況下ではあるか、この法案が成立したら彼らが得意？とする差別的で卑劣な汚い言動が、取り締まりの対象となることへの恐怖感、防衛策と思われる。誰にも言えないような差別言辞を吐きながら「自分は差別者ではない」と言い張り、糾弾を受けると「差別を受けて病気になった」と公的機関に救済を求める彼ららしいし処世術とも言えなくはないが、滋賀支部などは毎週「人権侵害救済法」反対の街頭宣伝を行なっている。

また2011年後半より、「住民基本条例」などの制定を進める各自治体に対し、市役所などへの抗議申入れと、駅頭や関係先への、嫌がらせ街頭宣伝と反対ビラポスティングが活発化して来ている。

奈良・生駒市、大阪・門真市、島根・出雲市・益田市、神戸市、広島・廿日市市など。
2012年に入って大阪市北部の小学校へ、卒業式での日の丸掲揚、君が代斉唱、起立などが実施されているかの確認訪問を行い、また尼崎市と伊丹市には朝鮮学校敷地の賃貸料について、確認と苦情申入れを行い動画配信を行っている。